

2006年 10月 31日

小委員会設置申請書

1.名称 英文名称は Sub Committee を付記	実証実験小委員会	英文 名称	Sub Committee on Pilot Project
2.所属本委員会 (所属運営委員会)	ユビキタス建築都市特別研究委員会		
3.設置期間	2006年 12月 ~ 2008年 3月		
4.設置目的	(具体的な目標) 本小委員会は、最新のユビキタス関連技術の実証実験や適用の事例を整理・分類し、日々進化するユビキタス関連技術の建築分野での適用性を明らかにしていくことを目的とする。		
英文	This Sub Committee aims to collect and classify examples of pilot projects and applications related to the latest ubiquitous computing technologies for verification of applicability of ubiquitous computing technologies.		
5.委員会の位置付け	無線 IC タグ (RFID)、センサネットワークなどのユビキタス関連技術は、日進月歩で開発が進められ、実証実験により適用性が検証されつつある。本小委員会を設置し、こうした実証実験事例を整理・分類して他の小委員会と情報共有することにより、ユビキタス関連技術の建築分野への応用を促進する。		
6.委員会の構成 (確定している委員 予定者のリストを別 途添付する)	(委員構成の考え方、分野別構成、地域性、公募制等) 本委員会の委員に加え、情報通信技術が社会に与える影響に詳しく、本テーマに関して研究実績・知見のある委員を、大学および企業から指名して推薦する。(名簿は別添)		

<p>7.活 動 計 画</p>	<p>(活動の具体的方法、内容)</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証実験、適用事例の調査、情報収集 ・ 実証実験、適用事例の整理・分類 ・ 「都市小委員会」との連携による実証実験の企画・実施 ・ ホームページでの公表 <p>2年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実証実験、適用事例の調査、情報収集（継続） ・ 実証実験、適用事例の整理・分類（継続） ・ 「都市小委員会」との連携による実証実験の企画・実施（継続） ・ ホームページでの公表（継続） ・ 実証実験、適用事例にみる適用性に関するまとめ 		
<p>8.期待される成果 と公表方法</p>	<p>(内容と公表形態)</p> <p>ユビキタス関連技術の実証実験、適用事例について整理した結果を報告書、シンポジウム、ホームページ等で広く学会員に提供する。</p>		
<p>9.設置を予定する WG</p> <p>英文名称は Working Group を付記してください。</p> <p>(WGがなければ記載不要。WGが2つ以上ある場合は別紙に記載のこと。必要なら各WG毎に小委員会設置申請書と同様の書式のものを添付する)</p>		<p>英文 名称</p>	
<p>期間： 年 月 ～ 年 月</p>			

注1) 各項目に関して提示された事項に注目して記述してください。

注2) 合同小委員会、研究会を設置する場合にもこの書式を準用してください。

委員名簿

番号	会員番号	役職	氏名	勤務先
1	8415526	主査	倉田成人	鹿島建設株式会社
2	9602671	幹事	松永直美	レモン画翠
3	9226271	幹事	小松喜一郎	立命館大学
4	6501309	委員	新宮清志	日本大学
5		委員	遠藤貴則	三菱マテリアル株式会社
6		委員	池田靖史	慶應義塾大学
7		委員	石原昇	株式会社サイコム・インターナショナル
8		委員	石原浩樹	総務省
9		委員	今井雅文	沖電気工業株式会社
10		委員	岩尾忠重	富士通株式会社
11		委員	勝田敏彦	朝日新聞社
12		委員	庄司寛	庄司寛建築設計事務所
13		委員	杉本和敏	日本アイ・ビー・エム株式会社
14		委員	武山政直	慶應義塾大学
15		委員	明珍令子	東京大学、NPO 法人産学連携推進機構

(注) 氏名の**太字**は、本委員会の委員。委員名はあいうえお順に記載。